



6	収納金額	n11	・利用者から収納した金額 ・納付額+延滞金 ・桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋め	***	統一QRコードの場合は延滞金は不要でしょうか？ ⇒当該運用では、地方税統一QRコードからセットする場合、「納付額」としてQRコード格納金額（地方税統一QRコード格納項目の項番04-3払込金額）をセットする想定です（※再発行された場合などで、本税と延滞金が記載された納付書についても、その合計額が払込金額としてQRに格納されるので、当該金額を「納付額」にセットする）。（参照）第2回QR活用検討会配付資料「個別の地方団体・金融機関の交渉の中で、従前の取扱いを継続することまで排除するものではありませんが、地方税統一QRコードを活用したeLTA X経由の収納については、地方団体が延滞金の計算を行い、当該延滞金に係る納付書を別途発行することになります。」
7	納付額	n11	・OCR情報（またはバーコード情報）から読み取った金額 ・桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋め	***	統一QRコードから読み取った金額でしょうか？ ⇒ご認識のとおりです。
8	延滞金	n8	・延滞金がある場合、金額を個別に設定 ・未使用時はオールゼロ	***	一律セット不要（または“0”をセット）ということでしょうか？ ⇒'00000000'をセットします。
9	予備	n12	・オールゼロ	***	
10	他店券金額	n11	・他店券で支払われた金額を個別に設定 ・未使用時はオールゼロ	***	
○ 11	金融機関店舗コード	n6	・収納を行った金融機関の店舗を表すコード（金融機関の任意項目） ・未使用時はオールゼロ	***	・MPN一括伝送ルートでのインターネットバンキング、スマホ収納が許容されるとした場合、セット方法は？ ⇒(1)IB、スマホからの一括伝送方式も許容されます（=データ作成方法は各金融機関のご判断となります）。 (2)MPNセンターのシステム上はどのようなコードでも問題なく、オールゼロで問題ありません。利用される場合は実店舗、事務センター等で重ならない番号などを各金融機関で割り当ててください。 ・実在の店舗コードをセットするのが通常運用である、としないことを確認したい。 ⇒インタフェース仕様書第4.8版（2022年5月30日改訂）において、店舗コードの入力は金融機関の任意であると明記しました。 ・事務センターで一括処理をおこなう場合、当該コードは受付した窓口の支店コードとなるのか、事務センターの支店コードとなるのか ⇒本項目は、受付した窓口の支店コードを想定した項目ですが、どのコードでも問題ございません。
12	収納日	n8	・利用者が金融機関チャネルにおいて支払いを行った日付を個別に設定	***	
○ 13	金融機関処理日	n8	・金融機関事務センター等で入力処理を行った日付	***	・MPN一括伝送ルートでのインターネットバンキング、スマホ収納が許容されるとした場合、セット方法は？ ⇒IF仕様書に従って金融機関事務センター等で入力処理を行った日付を設定してください ・「金融機関事務センター等で入力処理を行った日付」とあるが、事務センターで受付した日、一括消込データを作成した日、一括消込データを送信した日のどれを想定されているか。 ⇒どの日付でも問題ございません。
○ 14	金融機関処理通番	n8	・金融機関処理日（項番13）における一連番号	***	・連番である必要があるか ⇒重複する番号でなければ、連番である必要はありません。
15	手数料負担区分	n1	OCR情報から読み取り設定 ・'0':利用者負担なし '1':利用者負担あり	***	統一QRコードの場合は何をセットするのか？ ⇒「0':利用者負担なし」となります。 (補足) 統一QRコードの項番04-4「料金負担区分」には「2」（加入者負担）がセットされますので、本項番は同じ効果を意味する「0':利用者負担なし」となります。
16	税目・料金番号	n3	・オールゼロ	***	⇒MPNセンターが地方税共同機構へ転送時に設定する（データレコードの収納識別情報のQR情報を読み取り設定）
○ 17	チャネル区分2	an2	・取り扱いチャネルを設定する。 ・'スペース': 窓口 '02': 窓口以外 (注) (注) 利用者の手元に領収印が押された納付書が残らないチャネルを指す。ATM（利用者操作型のATM以外の金融機関管理端末機器を含む）やリモートチャネルによる一括伝送処理を想定。	***	MPN一括伝送ルートでのインターネットバンキング、スマホ収納が許容されるとした場合、セット方法は？ ⇒「02」をセットする。
18	予備	an14	・スペース	***	

■サブファイル：トレーラレコード【一括消込データ：地方税、地公体料金用】（IF仕様書 表5.10.2-4b）

項番	項目	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・'8':トレーラレコード
2	納付金区分	n2	・'02':地方税、地公体料金
3	データレコード件数	n8	・データレコードの件数
4	収納金合計金額	n13	
5	納付額合計金額	n13	・データレコードの合計
6	延滞金合計	n10	・予備はオールゼロ
7	予備	n16	
8	他店券金額	n13	・データレコードの合計
9	予備	an124	・スペース

金融機関からの照会および回答

■エンドレコード【一括消込データ・合計値あり】（IF仕様書 表5.10.2-5b）

項番	項目	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・'9':エンドレコード
2	データレコード件数合計	n10	・全トレーラレコードのデータレコード件数の合計
3	収納金額合計	n15	・全トレーラレコードの収納金額合計の合計
4	予備	an174	・スペース

金融機関からの照会および回答

別紙\_1(MPN標準帳票における納付書券面確認イメージ (カク公はあくまで例示))

**【QRコード破損（読取不能）時に確認】**

- ① 「45000」  
→ 項番5：項目04-3「払込金額」
- ② 「12345」  
→ 項番5：項目04-13「団体番号」
- ③ 「12345678901234567890」  
→ 項番5：項目04-10「案件特定キー」
- ④ 「123456」  
→ 項番5：項目04-11「確認番号」
- ⑤ 「123」  
→ 項番5：項目04-7「税目・料金（納付区分）」

※MPN標準帳票及びMPN準拠帳票においては、MPNの収納機関番号等の欄に共通納税用の各番号が記載される。

○83桁情報へのあてはめ

前半39桁

CD(2)	記号番号(11)	払込金額(11)	① 料金負担区分	② 印紙税の要否の別	③ 税目・料金(3)	④ 拡張領域(5)
99	00000000000	XXXXXX XXXXXX	213800	0	XXX	00000
	固定値	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値	

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

後半44桁

CD(2)	案件特定キー(20)	確認番号(6)	③ eLTAX利用領域	④ 税務事務所コード(3)	⑤ 拡張領域(7)
99	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX	0XXXXX	000	0000000
	券面情報 ※	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め



別紙\_ (3)MPN標準帳票・MPN準拠帳票以外の納付書券面確認イメージ（カク公はあくまで例示）

**【QRコード破損（読取不能）時に確認】**

- ① 「45000」  
→ 項番5：項目04-3「払込金額」
- ② 「12345」  
→ 項番5：項目04-13「団体番号」
- ③ 「12345678901234567890」  
→ 項番5：項目04-10「案件特定キー」
- ④ 「123456」  
→ 項番5：項目04-11「確認番号」
- ⑤ 「123」  
→ 項番5：項目04-7「税目・料金（納付区分）」

※MPN標準帳票及びMPN準拠帳票以外の帳票においては、「eL番号」に続けて共通納税用の各番号が記載される。

○83桁情報へのあてはめ

前半39桁

CD(2)	記号番号(11)	払込金額(11)	① 料金負担区分	② 印紙税の要否の別	機関ID(5)	税目・料金(3)	拡張領域(5)
99	00000000000	XXXXXX XXXX	2	138000	0	XXX	00000
	固定値	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値		

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

後半44桁

CD(2)	案件特定キー(20)	確認番号(6)	③ eLTAX利用領域	④ 税務事務所コード(3)	共通納税機関コード(5)	拡張領域(7)
99	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX	0	000	XXXXX	0000000
	券面情報 ※	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値	

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め